

(様式第4号)

上田市地域情報化推進委員会 会議概要

1 審議会名	上田市地域情報化推進委員会
2 日時	令和2年12月25日 午後2時00分から午後4時00分まで
3 会場	Web会議にて開催（事務局及び傍聴者：市役所本庁舎5階第3委員会室）
4 出席者	小林一樹会長、西入幸代副会長、井領明広委員、小駒はるみ委員、萱津理佳委員 小山陽三委員、中村和己委員、長谷川はるみ委員、水野泰雄委員、山本幸恵委員 藪井陽子オブザーバー（総務省信越総合通信局情報通信振興室長）
5 市側出席者	吉澤政策研究センター長、大矢政策研究センター副センター長、児玉マネージャー、 中村政策研究センター係長、沓掛政策研究センター主査、中村総務部長、腰原情報 システム課長、市村情報システム課長補佐、鈴木情報システム課係長、武井情報シ ステム課主査、村山情報システム課主事
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	2人 記者 1人
8 会議概要作成年月日	令和2年12月28日

協 議 事 項 等

1 開会（腰原課長）

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 「上田市スマートシティ化推進計画（案）」について

○事務局から「上田市スマートシティ化推進計画（案）」を説明

・以降、協議

(会 長) 章ごとに分けて意見を求めたい。まずは、第1章と第2章で御意見をお願いしたい。

(委 員) 第1章5ページの「図 基本方針1.2の推進体制」だが、従来、情報システム課は業務改善をサポートする部署。ICT化が進み、組織が技術に追い付いていないのではないかと。

本計画自体が行政改革そのものであるためシステム開発を進める以前に、行政改革を主導する組織があってもいいのではないかと。行政改革を主導する部署はあるのか。

(会 長) 今の発言は非常に大事。紙に頼っている部分もある。個人情報が入っているファイルでもパスワードを付けていない。付けていてもそのままパスワードも一緒にメールで送付するなど意味のないことが行われる可能性がある。情報システム課以外にワークフローを見直す部署が入る構造がいいのではないかと。

(事務局) 来年度新庁舎移転があり、すぐに組織改正は難しい。将来的には大きな話であるためスマートシティ化を担う部署の検討も必要だが、当面は、委員長は総務部長、事務局は情報システム課、行政改革は行政管理課、人事・組織は総務課という体制で進めていく。

(委 員) 行政改革をトータルで管理する部門があった方がいいと思う。市民、行政を活気づけるシステムにしていく必要があるので、行政改革という視点でも計画策定をお願いしたい。

(事務局) 現在、行財政改革大綱を作成中である。本計画と整合をとる形で進めている。

(会 長) 4ページの「計画の期間」を説明する図で、矢印などで、関連性を示してはどうか。

(事務局) 検討する。

(委 員) 前回、効率化という話をしたが、行政改革ができていないから示せないのではないかと。何に

対しての効率化なのか。やはり比較検討が無いと成立しないと思う。民間ではありえない。行政であれば比較検討した上で必要なら進めればいい。第1章から3章で効率化という言葉が10か所でてくる。3章の基本的な考え方では、連発しているがよくわからない。現状を試算してもらいたい。4ページの「計画の期間」に、必要に応じ見直すとするが何を基準に見直すのか。目安が必要なのでは。

(会 長) どの自治体も効率が悪くという認識でいる。見直しに関しては、技術の進展が速いので技術の普及等を踏まえて見直すということでもいいか。

(事務局) 効率化の部分は方針として掲げている。個別の推進に関しては、指摘の通り、現状と比較する方法はとる。公表は議会に議案を出して、議会を通じ示していく。

計画の見直しについては、本委員会をチェック機関として、進捗状況についても年1回は審議いただく予定。新しい技術があれば見直す。

(委 員) 効率という言葉は一人歩きしなくてもいいのでは。市民にとって必要であれば、デジタル化を進める。効率化と力まなくてもいいのではないか。もう少し市民目線の表現はできないか。補助金をとるためのアライバイ作りに見える。上田市らしさが見える表現にしてはどうか。

(会 長) 民間の目線で具体的に何かいい記述はあるか。

(委 員) どういった立ち位置で文書を書くかだと思う。補助金をもらいに行くにはこの言葉がないといけないという事ではなく考えなくてははいけない。

(事務局) 国で「自治体デジタルトランスフォーメーション推進計画」が出ていて、官民データ活用計画という立場で位置づけられている。行政の効率化も一大テーマとなっているため意識して記載している。

(会 長) 市民の利便性と業務の効率化の二つを掲げていても悪くないと思う。効率化に重点が置かれるのは懸念があるのでは。

(委 員) あまり効率化を求め過ぎなくてもいいのでは。

(会 長) 私の方でも、事務局と相談して記載については考えてみる。

(委 員) 無理に効率化を求めなくてもいいのでは。

(会 長) アンケート結果の記載もあるので、情報は充実している。参考にしてもらいたい。

(会 長) 第3章と第4章での意見をお願いしたい。

(委 員) 30ページの「個別施策⑥公衆無線LANの整備促進」について、情報取得できるのは当たり前だが、電源供給のバックアップについての記載が無い。公衆無線LANもそうだが、市民のスマホの電源確保も考えなくてははいけない。

東北の震災、千葉県台風被害など。19号災害では川西、青木地区で停電が続いた。公衆無線LANで発信するのはいいが電源のバックアップに関してはどうか。

(会 長) 非常用電源についても盛り込んでいってはどうか。

(事務局) 公衆無線LANについては、広域避難所である小中学校の体育館と一部の市施設に整備してある。電源供給があることを前提に避難所としての開設を想定している。通信事業者とも提携してバックアップしてもらうよう用意はしているが、協定を結んでいないため記載は難しい。災害時の電源確保について電力会社に依頼をするようになる。また、庁内で方策を検討して記載内容を検討する。

(委 員) 現在、建設中の新庁舎の非常用電源はあると思うが、避難場所までは配置されていないので

はないか。ハードの話もないと怖い。市民側の立場で、避難所でのスマホを利用し情報収集のための電源確保も考えていただきたい。

(事務局) 現在、発電機があるところもあるが、すべての避難所に発電機があるわけではないので検討していく。

(委員) 千葉県では、用意があるにも関わらず災害時にジェネレーターが使われていなかった事例があった。長野県ではジェネレーターがどの位あるのか。本計画とは別に、そういった情報もオープンにする必要があるのでは。

(事務局) 長野県に確認する。

(会長) 上田市の晴天率は高い。市民のソーラー普及率の確認をしておくとも非常時に電源確保として使用できるのではないかと。公用車の導入時にプラグインハイブリットなど蓄電機能を持つ車を導入しておくとも移動型の電源にもなり、災害時の電源活用を普段使う物の中に盛り込むというのではないかと。非常用に蓄えていざ使う際には誰も使い方がわからない状況にならないように、普段も活用できる内容にするというのではないかと。

(委員) 家庭用のソーラーパネルは10年経過後の買い取り価格が高くなり、その後の用途をどうするかという話もある。新庁舎にもソーラーパネルを配置しているはず。

(事務局) 現在、新しい学校にはソーラーパネルを配置している。昨年の19号災害では40数か所の避難所に、2,500人の避難者がいて全員の充電は困難だったと考える。市民への広報も必要である。

(会長) 蓄電池の導入が一般にも広がっている。小中学校のエアコン導入に伴い契約電力の問題もでてくるのではないかと。蓄電池を導入しておけばピークカットもできるし、避難所開設の際にも使える。

(委員) 青木村は日産と協定を結びリーフ車を導入し、災害時には試乗用のリーフ車を貸与するとニュースでもやっていた。電気自動車のリチウム電池活用もできるのでは。

(会長) 盛り込めるところは盛り込んで欲しい。ソーラーは上田らしくていいのではないかと。

(委員) 屋根貸しのNPOもあり、全国的にも有名。ソーラーを活用することも考えてもいいのでは。

(会長) 大きなソーラー発電を作るときには、非常時には解放してもらおうというような条例を作ってもいいかも。

(委員) ソーラー発電をやっている会社から電力会社へ供給ができなくなった時でも、その設備では100Vまで使用できる事が知られていない。

(委員) 22ページの「3.3.1 基本施策 (1) 行政手続のオンライン化の推進」にある「従来の紙文化からの脱却」、紙文化を無くさないでほしい。もう少し表現を考えてもらえないか。紙には紙の良さがある。

(事務局) 現在、行政上でも文書保管は紙ベースとなっている。公文書館等も同様で、指摘の趣旨を盛り込むよう検討する。

(事務局) 行政文書の保存は紙。デジタル化することにより原本性の証明をどうするか。紙かマイクロフィルムか。USBなど記録媒体も種類が増え、100年残るか、劣化しないかという問題もあるので紙はなくなる。この趣旨に関しては、市民が窓口に来て同じことを何回も書かせることはやめようといった趣旨。表現方法に関しては検討するが100年、1,000年の保存は紙もしくはマイクロフィルム。

(会長) 「紙文化からの脱却」から「紙媒体との使い分け」に変えてはどうか。紙には紙の良さがある

る。「脱却」までは言わなくてもいい、「文化」までは否定しなくてもいいのでは。

(委員) 37 ページ「個別施策⑩クラウドサービスなどの利用促進」について、オンプレミスもいい面がある。大手の業者が来て東京のデータセンターに集中した場合、東京で災害があったら全て止まってしまう可能性がある。お金も時間も職員の労力もかかるが、オンプレミスは災害時には強いシステムとなるのでは。データは飛ぶとゼロになる。冗長化して2か所にデータを置くことも大事。

クラウドとオンプレミスの併用でもいいのでは。新庁舎ではすべてクラウドになるのか。

(事務局) これまでも自庁のオンプレミスでやってきた。国の方針として、自治体クラウドは共同化した上でクラウドを利用する。単独クラウドは市のみでクラウド化。国ではシステムの標準化としてクラウド化しなさい、17業務については5年以内に標準化しクラウド利用しなさいとなっている。国が示す標準仕様に移行しなくてはいけない状況にあることは理解いただきたい。住基システムについては今年度クラウド化した。通信はデータセンターと二重で冗長化している。災害時のことも考慮しバックアップサーバは自庁に置いている。

(委員) 災害時に通信を行う際にハードルとなるのが、大手業者がクラウドを持つとやり取りが難しくなる。有事の際のことも考えた融通の利く仕様を考えてもらいたい。

(会長) 「個別施策⑩クラウドサービスなどの利用促進」の「目標」には、クラウドという言葉は入っていない。効率化やコスト面で有利な際には、オンプレミスでもクラウドでもいいのではないか。

柔軟な記述に変えてもいいのでは。「主な取組」は、クラウドサービスだけになっているので。

(委員) 非常に重要なところだと思う。クラウドだけに限定しないほうがいい。オンプレミスの技術者がいなくなることも問題。

(会長) 何かしら意見を反映させるということでもいいか。

(事務局) クラウドサービスの利用は促進していくが、肝の部分は記載をできるよう努力する。

(委員) 29ページの「個別政策④ICTを活用した情報発信」、「個別政策⑤ICTを活用した避難情報の発令と発信、災害情報伝達手段の多様化・多重化」について、ICTを活用した情報発信は記載があるが、市民からの情報の受信はどのようなものがあるのか。例えば、大雪が降って困った事があるときに市民はどのような情報発信をしたらいいか。市から情報発信の記載はあるが、市民から発信した情報も大切だと思うが、市民からの情報を受け取ることは考えているのか。

(事務局) 市からの情報発信については、メール配信をしている。また、危機管理防災課で情報の多重化・多様化を考えている。上田ケーブルビジョン、丸子テレビ放送、防災用ラジオなど様々な受信手段があるが、市が収集する情報としては、19号災害の際には、市本庁舎で災害対策本部を設置し、職員による電話対応、気象庁、国交省、県などのサイトから情報を集めていた。

新庁舎では新たにシステム導入し一元化する予定。現在は、市民の方からの電話での情報を住宅地図に印を付け現場に行くなど対応していたが、今後はGISを利用して、市民からの情報を共有していく。

(会長) 今の委員の質問は市民から市に情報提供や、市民の意見のくみ上げという意味では。

(委員) 何年か前的大雪の際に佐久市長がツイッターで情報提供を受けていた記憶がある。誰に相談したらいいかわからないことや、市民の声を拾う仕組みはないのか。

(事務局) 市民からの情報を行政で受け取る部分は、29ページ「個別施策④ICTを活用した情報発信」の「主な取組」の「双方向コミュニケーション」、にかかる。総合防災システムでは、例えば

SNS で位置情報付きの写真を送付し災害状況を送ることで、位置情報があることにより地図上に反映され共有できるように検討している。だが、有事だけの利用では機能しない可能性もあるので、平時から利用することで市民も行政側も使いこなせるようにしたい。

(会 長) 情報発信を流行のツールを使って行わないと広報の目的を果たせないの、市でも流行りのサービスから情報収集するのもいいのでは。一部の偏った情報だけを拾ってしまう心配もあるが、双方向で行ってもいいのではないか。情報発信と情報収集も盛り込んでどうか。

(会 長) 第 5 章と第 6 章の意見をお願いしたい。

(委 員) 39 ページのバスロケーションシステムの説明が用語解説に記載が無い。

(事務局) 用語解説に追加する。

(委 員) 双方向システムについて、他市では、市民から道路に穴が開いている状況をスマホで撮影し、市に送信するといった事例もある。普段から双方向を生かしていけばいいと思う。

(会 長) 縛りが無くおこなうと際限なく意見が来て大変という面もある。

(委 員) 他市の事例は道路管理。災害があった際にだけ特化すると周知できないし、使われない。普段から利用できるものと結び付けて運用するといいいのでは。

(会 長) フェイク情報の見極めも大切。技術的にいいものを見つけてつ、市民からの情報収集に結び付けてもらいたい。

(委 員) 全文を通して※がある。途中から読んでもわかるように※を付けたのだろうが、少し読みにくい。

(会 長) ゴシックにしてはどうか。また、検討してもらいたい。

(事務局) 道路管理の双方向では、千葉市では市民からの情報提供を写真で受け、GIS で位置情報を確認する。市職員がパトロールに行かなくてもいいという業務の効率化が図れ、市民からも地域の情報を提供できる。他市の取り組みを確認しながら、検討していく。事務局で調整し、適切な表現で記載できるよう検討していく。

(会 長) 道路情報であれば確かな情報であると考えられる。そういうものから導入するとやりやすい。

(委 員) 17 ページ 「2.3.1 地域情報化の取組」中の GIGA スクール構想について、R2 に一人 1 台となっているが、タブレットパソコンの配置は終わっているのか。

(事務局) 現在発注中であり、2 月中に学校に納品される予定。

(委 員) 51 ページからの「関係団体との意見交換」の計 40 か所の意見聴取は素晴らしい。今後も継続して、意見聴取を行ってもらいたい。

(事務局) 計画を作る上で、市民の思い、ニーズ・困りごとなどを ICT で解決できればと考えて実施した。いただいた意見の全てを反映する形とはなっていないが、市として必要なものを位置付けて対応させていただいた。今後、計画を具現化していく段階には、6 ページの「図 基本方針 3.3.3 の推進体制」のように、それぞれのプロジェクトチームごとに市民、企業、団体の皆さんで具現化していく。意見交換は、課題解決の第一歩なので、今後もこういった取り組みを進めていく。

(会 長) 上田市としても政策研究センターが設置されているというのが本気度を感じるの、このまま続けていってもらいたい。

(事務局) 個別施策ごとにプロジェクトチームを作り、主な取り組みとして掲載できるものは掲載しているが、5 年間の計画の中で載せているものだけを行うということではなく、引き続き、計画期

間中にも意見交換に向いて計画に追加していく。

(会 長) 用語集などの抜けは事務局で確認いただきたい。

(会 長) 全体を通して意見があればお願いしたい。

(事務局) 「自治体デジタルトランスフォーメーション推進計画」が本日は示されたので説明したい。重点取組事項について、1.自治体の情報システムの標準化・共通化、2.マイナンバーカードの普及促進、3.自治体の行政手続のオンライン化、4.自治体のAI・RPAの利用推進、5.テレワークの推進、6.セキュリティ対策の徹底。

自治体DXの取組みとあわせて取り組むべき事項について、1.地域社会のデジタル化、2.デジタルデバイド対策、3.BPRの取組みの徹底（書面、押印、対面の見直し）、4.オープンデータの推進、5.官民データ活用推進計画策定の推進。

概ね、本計画に反映されているかと判断する。

(会 長) メールで資料の共有をお願いしたい。国の示している項目は網羅していると理解してもらえれば。個人的にはもう少し攻めた取組があってもいいのかなど。全国の自治体と同じことやっている。足並みを揃えていかななくてはいけない部分もあるので、これだけおさえておけばいいかと思う。攻めた取組を行う際には政策研究センター中心に助成金を利用し、先進的なことを挑戦していく姿勢があれば、盤石な基盤の上で進んでいくのではないかと。

(事務局) 国、県の新しい制度等を情報収集し研究していく。地方自治体の財源も厳しいため、有利な補助金等を積極的に活用していきたい。

(委 員) 紙文化の話だが、私は史跡の案内をおこなっていて興味がある。古文書だと借金の証文や偉人の文書がよく残る。庶民の生活や一般の人の生活はよくわかっていない。行政で紙の文化で残すのであれば、婚姻届・出生届など手書きで書いて押印するものになるのかと思う。

(事務局) 届出の文書については担当部署と協議していく。庁内のいらぬ押印の見直しは必要と考えているが、それ以外は決まっていない。以後は委員会等で報告させていただく。

(委 員) これまでの議事録についてはどうなっているのか。

(事務局) 議事の概要は市ホームページに掲載している。委員宛には、後日メールで送付する。

(会 長) 委員会後でも意見があれば事務局に送るということでいいか。

(事務局) 意見については1月6日までにメールでお願いしたい。パブリックコメントの募集は1月16日から2月15日まで。

(会 長) 1月6日までの意見はパブリックコメント時に公表する計画案に反映してもらえるとということでもいいか。

(事務局) その通り。

#### 4 その他

#### 5 閉会（中村総務部長）